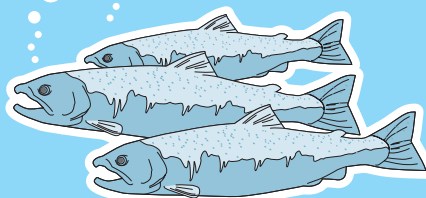


ピワマス通信

vol.5



ピワマスまちづくり市民会議

「ピワマス倶楽部」がスタート!

ピワマスや天野川を素材にした魅力的なまちづくりを市民のみならずと進めていくために、市民主体の「米原市ピワマス倶楽部」を設置し、その活動がスタートしました。

8月2日に開催した第1回目の会議では、「昔はピワマスが当たり前のように遡上していたが、今は見る事ができなくなってしまう」「ピワマスはとてもおいしい魚。食材としてもPRしていきたい」など、メンバーのピワマスへの思いや意気込みが語られました。

そして、8月18日に開催した第2回目の会議からは、滋賀県立大学の学生7人も倶楽部のメンバーと連携

生物多様性の保全を進めるモデル事業

天野川に琵琶湖固有種のピワマスが遡上できる環境をつくってまちづくりを進めようと、市では県や関係機関とともに「天野川ピワマス遡上プロジェクト会議」を設置しています。

天野川ピワマス遡上プロジェクト会議
事務局
経済環境部 環境保全課(伊吹庁舎)
☎58-2230
☎58-1630



▲今後、倶楽部のみなさんには、ピワスマちづくりの「仕掛け人」としてご活躍いただきます。

して活動すること。この日は天野川沿いを歩き、ピワマスの遡上の妨げとなっている堰堤や、アユなどの遡上状況などを確認したほか、醒井養鱒場でピワマスの生態や養殖技術などについて学習しました。

参加者募集!

天野川岩脇地先に「簡易魚道」を設置します!

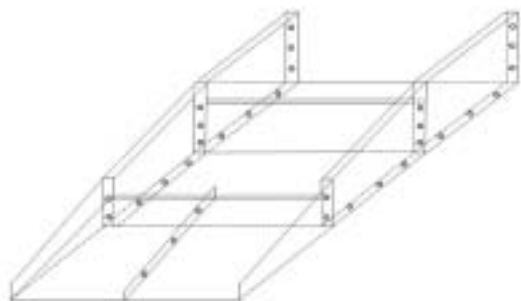
現在、天野川岩脇地先にある堰堤によって、これより上流にピワマスが遡上できなくなっています。そこで、県の協力のもと、今年度末までにこの場所に魚道を設置することになりました。

今回は、本格的な魚道設置前に倶楽部のメンバーを中心に簡易的な魚道を設置し、遡上状況の調査や魚道の効果などを検証したいと考えています。

今回の設置作業は、どなたでも参加していただけます。興味のある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

「簡易魚道」設置作業

- 日時 9月22日(土) 13時~15時
市役所米原庁舎に集合
- 場所



知っトコ 「堰堤」ってなに?

川の流れを緩やかにしたり、水をせき止めて農業用水などに利用するために築かれた堤防のことで、市内でも数十年前から次々と整備されました。天野川には上流までに高さ70cm~130cmの堰堤が6か所あり、ピワマスが飛び越えることができず、遡上を妨げています。